

## 船舶事故調査報告書

平成21年7月16日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員長 後藤 昇 弘  
 委員 楠 木 行 雄  
 委員 横 山 鐵 男（部会長）  
 委員 山 本 哲 也  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成20年12月7日 10時30分ごろ本船上の船長が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、北海道函館市大船漁港 <sup>おおふり</sup> 東方沖300m付近であった。）
事故調査の経過	平成20年12月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>つるぎ</sup> 剣丸、1.3トン HK3-115382（漁船登録番号）、個人所有 6.88m×2.04m×0.82m、FRP ガソリン機関、60kW（漁船法馬力数）、平成2年4月10日
乗組員等に関する情報	船長 男性 72歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年8月15日 免許証交付日 平成17年7月11日 (平成23年2月20日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成20年12月7日06時30分ごろ、船長1人が乗り組み、かれい刺網漁の目的で、北海道函館市大船漁港を出港した。付近住民から本船に動く気配がない旨の通報を受けた漁業関係者が、10時30分ごろ、同港の東方約300m沖の本船に駆けつけたところ、揚網ドラムに瀬縄ごと巻き込まれた状態の船長を発見し、手配した救急車で病院に搬送したが死亡が確認された。 後日、死亡推定時刻は09時00分～10時00分の間であり、死因は急性心不全と検案された。
気象・海象	気象：天気 雪、風向・風速 不明 海象：波はほとんどなかった
その他の事項	船長は、日ごろ、体調不良を訴えてはいなかった。 機関は、操縦レバーが中立状態で、停止していた。 揚網機は、操作レバーが運転状態であったが、停止していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし なし 死因は急性心不全であること。 急性心不全に至ったのは、揚網ドラムに巻き込まれたことによるものか、巻き込まれる以前に発症したものか、明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船に1人で乗り組んでいた船長が、急性心不全を発症したため、発生したものと考えられる。	